



東中だより

No. 04 令和7年7月25日(金) 余市町立東中学校 発行

校訓…「進取」「利他」

学校教育目標

- 自律…自ら考え判断し行動する
- 尊重…多様性を受け入れ対話し解決する
- 創造…豊かな発想で新たな価値を生み出す

暑すぎる夏… 明日から夏休み

校長 明 村 秀 之

気温30度を超えるだけでなく、道東方面では39度の予報がでるなど、北海道とは思えない天候が続いています。熱中症で救急搬送される方が増えているとの報道を毎日のように目にし、心が痛くなります。暑さによってレールがゆがむ可能性があることから列車が運休したり、臨時休業となった飲食店もあつたりなど、社会全体に影響が出ています。学校におきましても、普通教室にエアコンが整備されていなかったり、体育館の暑さ指数が高くなったりすることで、臨時休校や活動縮小、繰り上げ下校になるなど、暑さ対策及び熱中症予防策を講じることとなりました。本校については、普通教室に窓枠エアコンが2台ありますので、フル稼働させることで授業については通常通り行うことができました。しかし、体育館や特別教室はかなり暑い状況ですので、運動部活動中止や大掃除など一部取組を縮小させる対応としました。

暑さにより体調を崩したり、疲れてぐったりしたりなど、体への負担の大きさを私も強く実感しています。

7月の平年の平均気温は札幌で25度くらいとのことですので、相当な猛暑であることがあらためてわかります。私たちの命や暮らしに大きな影を落としていますので、今後の農作物への悪い影響が大変心配です。

8月もこの暑さが続くとの長期予報があるので、保護者・地域の皆様におかれましても熱中症予防に十分ご注意ください。

さて、本日をおもちまして75日間の1学期が終了いたしました。多くの方に教育活動に対するご支援ご協力を賜りましたことあらためて感謝申し上げます。ありがとうございました。

学校だより巻頭言では、その月にあった出来事や学校の取組を中心に書いております。感心したり、うれしかったりした出来事を思い浮か

べて、子どもたちの確かな成長をあらためて感じています。この1学期もいろいろと心動くうれしい出来事がありました。もちろんそればかりではなく、指導すべきことについては「見逃しゼロ」を合言葉に進めてきております。

学校外でのことなのですが、これは見逃せない…残念だと思ふ出来事がありました。

7月9日(水)に、生徒会企画として「青少年赤十字活動～夏のボランティア活動～浜中海水浴場ごみ拾い」を行いました。北海道新聞後志版に掲載いただいておりますが、西中学校と合同で実施しました。

その際、一見きれいに見える砂浜にプラスチックのごみが多く落ちていました。拾おうと思ふ触るとぼろぼろとこぼれ落ちるような状態のものが結構ありました。これがマイクロプラスチックといわれるごみとなり、海の生態系に大きな影響を及ぼしている原因となっていることを認識したところです。

さらに驚いたことがありました。遠くからの「校長先生、こんなものが埋まっていた!」と大きな声をかけられて振り返ると、なんとバーベキューで使用した網を持っているのです。しかも、埋まっていたのです。いや埋めていたのです。

最終的に10枚以上の網を拾いました。大人の悪質なマナー違反です。見逃せない残念な出来事でした。

明日から8月24日(日)まで、30日間の夏季休業となります。暑さに留意しながら、復習、部活動、趣味、遊び、それぞれに自分なりのがんばりと楽しみを見つけて取り組んでほしいと願っています。何よりもけがや病気には特に留意してほしいです。

休業期間中におきまして、生徒に関することで何かお気づきのことがありましたら、恐れ入りますが学校へご連絡ください。